

節水の具体的方法

1 職場における節水

- (1) 蛇口はこまめに閉め、流しすぎない。
- (2) 節水コマや節水型の泡沫器等の取り付けにより水量を調整する。
- (3) 来客に対する湯茶、コーヒー等のサービスは自粛する。
- (4) トイレの二度流しを極力控える。

2 家庭における節水

(1) 洗面

歯磨き、洗面、手洗い時の流し洗いはしない。

(2) トイレ

ア 水の流し過ぎはしない。

イ 大小レバーの使い分けをする。

(3) 洗濯

ア 風呂の残り湯を使う。

イ 洗濯物はまとめて洗い、回数を減らす。

ウ すすぎの回数及び水位を減らす。

エ 洗剤は適量を使用する。

(4) 風呂

ア シャワーはこまめに締める。

イ 浴槽にはあふれるほどの水を張らない。

ウ 残り湯は捨てずに再利用する。

(5) 台所

ア 食器はため洗いする。(水の流しっぱなしはしない。)

イ 米のとぎ汁などは散水に使う。

ウ 食器や調理器具の油分は紙でふいてから洗う。

(6) その他

ア 洗車及び散水を自粛する。

イ ふきそうじは風呂の残り湯を使う。

ウ 庭の散水には洗濯の排水、風呂の残り等を再利用する。

エ 蛇口はこまめに閉め、流しすぎない。

オ 雨水をためて利用する。

カ 水漏れ箇所の修理を行う。

キ 節水コマや節水型の泡沫器等の取り付けにより水量を調整する。

3 その他

- (1) 水道管に漏水がないかどうかチェックする。
- (2) 雨水、井戸水、湧水等を利用する。(用途：庭水、散水等)